

「行動し、新たなロータリーの可能性を引き出そう！」

(国際ロータリー第2690地区)



倉吉東ロータリークラブ週報

KURAYOSHI-EAST ROTARY CLUB WEEKLY

会長 大平純二
副会長 足立由里子
幹事 前畑俊幸

例会場 倉吉シティホテル2F TEL0858-26-6111

<http://www.east-rotary.jp>

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

E-mail: kurayoshi@east-rotary.jp

事務所 〒682-0023 倉吉市山根543-7 倉吉シティホテル3F

TEL: 0858-24-6300 FAX: 0858-24-6301

令和4年11月24日(木) 第2532回 例会報告 No.2397

書面例会(メール・FAX)

会長時間

本日は、コロナ感染者増加に伴い、書面例会と致しました。先週金曜日のギリギリまで前畑幹事と協議し、決定致しました。会員の皆様には御理解、御協力よろしくお願い致します。

本日は『職場の教養』という小冊子からの記事を紹介したいと思います。

時代小説「あきない世傳 金と銀」に登場する、大阪の呉服商「五鈴屋」の女店主の幸が、江戸に出店し様々な困難に直面しても貫き通したものは、二代目店主の妻・富久に教えられた「買うての幸い、売っての幸せ」という思いでした。

「買うての幸い」とは顧客が欲していたものを手に入れて、心から喜んでいる姿です。また「売っての幸せ」とは、販売した側が顧客の喜びを目の当たりにして、その喜びを共有している姿といえます。

この自他共に喜びあえる、満足できる姿こそが、事業商売を推し進めていく上で最も大事な心構えです。相手を満足させて喜んでもらうには、あらゆる知恵を絞り出し、日々の取り組みに活かしていかなければなりません。つい目先の利益にとらわれて、顧客の喜びや要望を後回しにしていないかどうか、改めて日々の仕事を振り返ってみましょう。併せて、仕事に限らず様々な人間関係においても、相手が喜ぶことを考える心を持ちたいものです。

まさに、ロータリー「4つのテスト」ではないでしょうか？そう感じるのは私だけでしょうか？人の喜びを我が喜びにし、喜びを共有したいものです。

以上、会長時間とします。

幹事報告

○12月1日(木)の例会開催については、本日本曜日の午後3時過ぎに発表される鳥取県のコロナ感染者数を見てから判断し、ご連絡いたします。

○創立記念例会のときの集合写真の購入をご希望会員は、事務局までご連絡ください。
(1枚1,100円)

委員会報告


○出席委員会

会員数 46名

出席会員 44名 欠席会員 0名

免除会員 2名

本日出席率 100%

 **Rotary**
四つのテスト
言行はこれに照らしてから

- 一 真実かどうか
- 二 みんなに公平か
- 三 好意と友情を深めるか
- 四 みんなのためになるかどうか

 **イマジン
ロータリー**

2022-23年度国際ロータリーのテーマ
RI会長 ジェニファー・E. ジョーンズ

イマジンロータリー / Imagine Rotary